

「さが観光周遊ドライブパス」利用約款

令和元年12月1日制定

(通則)

第1条 本約款は、西日本高速道路株式会社（以下、「当社」といいます。）が実施する「さが観光周遊ドライブパス」（以下、「ドライブパス」といいます。）について適用します。

(定義)

第2条 本約款において、次の各号に掲げる用語は、それぞれ当該各号に定めるところによります。

- 一 ETC無線通信 ETCシステム利用規程第2条に定めるETCシステムにおける無線通信をいいます。
- 二 ETCカード 当社との契約によりクレジットカード会社が発行したETCクレジットカード並びに当社、首都高速道路株式会社、東日本高速道路株式会社、中日本高速道路株式会社、阪神高速道路株式会社及び本州四国連絡高速道路株式会社（以下、「六会社」といいます。）が契約に基づき共同で発行したETCパーソナルカードをいいます。
- 三 ETC車載器 ETCシステム利用規程第3条に定める、自動車に取り付けて道路側のアンテナと通行料金の支払いに必要な情報を交信する無線機をいいます。
- 四 セットアップ ETCシステム利用規程第3条に定める、ETC車載器に通行料金の支払いに必要な情報を記録して利用可能な状態にすることをいいます。

(対象自動車)

第3条 ドライブパスは、ETC無線通信により通行が可能な軽自動車等及び普通車（車種区分については、道路整備特別措置法（昭和31年法律第7号。以下、「法」といいます。）第25条第1項の規定により当社が公告する高速自動車国道の料金車種区分によります。以下同じ。）のうち、第6条第2項の定めによりあらかじめ登録した車種に属する自動車による通行を対象とします。

(実施期間及び利用期間)

第4条 ドライブパスの実施期間は、令和2年1月10日（金）から令和2年4月10日（金）までの間とします。

- 2 ドライブパスは、実施期間のうち、第6条第2項の定めによりあらかじめ登録した連続する最大2日間又は3日間（利用開始日の0時から利用終了日の23時59分まで。ただし、利用開始日に申込みを行う場合は、申込みが完了した時点から利用終了日の23時59分まで。）（以下、「利用期間」といいます。）に行った通行を対象とします。利用期間外に行った通行は、ドライブパスの適用対象外となり、当該通行にかかる通行料金のお支払いが別途必要となります。
- 3 各通行の利用日の判定は、次の各号に定めるとおり行います。
 - 一 入口発券方式の区間では、その通行にかかる入口料金所または出口料金所（本線料金所が設置されている場合は本線料金所を、通行料金の課金に用いるETCフリーフローアンテナが設置されている場合

は通行料金の課金に用いるETCフリーフローアンテナを含みます。)の通過日時をもって、各通行の利用日の判定を行います。

二 単純支払方式の区間では、その通行にかかる通行料金をお支払いいただく料金所の通過日時をもって、各通行の利用日の判定を行います。

(対象区間等)

第5条 ドライブパスは、次の各号に該当する区間の通行を適用対象とします。これらに該当しない通行は、ドライブパスの適用対象外となり、通行料金のお支払いが別途必要となります。

一 利用期間内に初めて行う、別表2に定める発着エリア内のいずれかのICから流入し、別表3に定める周遊エリア内のいずれかのICで流出する連続した通行(ただし、高速道路の通行止めのため、発着エリア内のICから流入ができなかった場合の通行、または周遊エリア外のICから一旦流出し通行止め区間を迂回後高速道路への再流入を行った場合の一連の通行も当該通行とみなします。また、第3号に定める通行を完了する前に行う通行に限ります。)(以下、「往路走行」といいます。)

二 別表3に定める周遊エリア内のIC相互間の通行(回数の制限はありません。)(ただし、次号に定める通行を完了する前の通行に限ります。)(以下、「周遊走行」といいます。)

三 利用期間内に初めて行う、別表3に定める周遊エリア内のいずれかのICから流入し、別表2に定める発着エリア内のいずれかのICで流出する連続した通行(ただし、高速道路の通行止めのため、周遊エリア内のICからの流入ができなかった場合の通行、または周遊エリア外のICから一旦流出し通行止め区間を迂回後、高速道路への再流入を行った場合の一連の通行も当該通行とみなします。)(以下、「復路走行」といいます。)

2 発着エリアは、往路走行、復路走行ともに第6条第2項の定めによりあらかじめ登録した同一の発着エリアを利用するものとします。あらかじめ登録した発着エリアと異なる発着エリアを利用した場合、当該走行にかかる通行料金のお支払いが別途必要となります。

(申込等)

第6条 ドライブパスの利用にあたっては、ドライブパスの適用対象となる通行を開始するまでに申込みが必要です。

2 前項の申込みは、本約款に定める事項を承諾のうえ、当社が管理・運営するインターネットウェブサイト(以下、「ウェブサイト」といいます。)(において、別表1に定めるプランのうち利用するプラン、利用開始日及び期間、利用者氏名、居住都道府県、連絡先電話番号、メールアドレス並びにご利用するETCカードの番号及びその有効期限を登録することにより行います。

3 前項により申込みが行われたときは、当社は、登録内容を確認したことをインターネットメールにより利用者へ通知するものとし、利用者の受信状況に関わらず、当該メール送信時をもって申込みを有効とします。

4 次の各号を満たさない場合は、前項の規定にかかわらずドライブパスの申込みを無効とし、すべての通行についてドライブパスの適用はありません。

一 登録事項の入力が正しく行われ、入力の内容に誤りが無いこと。

二 申込み時に登録したETCカードが利用可能であること。

三 申込み時に登録したETCカードの名義がドライブパス利用者またはその家族等もしくは利用者が勤務する

法人であること。ただし、レンタカー店舗にてETCカードの貸与を受ける場合等については、この限りではありません。（なお、当社、東日本高速道路株式会社及び中日本高速道路株式会社が大口・多頻度割引制度のために発行するETCコーポレートカードでは、申込みいただけません。）

（申込内容の変更）

第7条 ドライブパスの申込内容（前条第2項の定めにより登録した事項をいいます。以下同じ。）について変更が必要な場合は、申込時に登録した利用開始日の23時59分までにウェブサイトにて変更手続きを行うことにより、ドライブパスの申込内容を変更することができます。ただし、利用するプランを変更する場合は、第12条の解約手続きを行ったうえで、前条第2項の申込が必要です。なお、変更手続きには申込時に交付した申込番号及び申込時に登録したメールアドレスが必要です。また、申込時に登録した利用開始日の翌日以降は、申込内容の変更はできません。

（利用方法）

第8条 ドライブパスを利用する場合は、申込時に登録した利用期間内に、申込時に登録したETCカードの利用により第5条第1項の各号に定める通行を行ってください。

2 料金所においては、申込時に登録したETCカードを自動車に搭載されたETC車載器に挿入し、ETCレーンをETC無線通信により通行してください。なお、登録と異なるETCカードなど別の支払手段により通行した場合、ドライブパスの適用対象外となり、当該通行にかかる通行料金のお支払いが別途必要となります。

3 料金所のETCレーンが閉鎖している場合は、次の各号に定めるとおり通行してください。

一 入口発券方式の区間において、入口料金所のETCレーンが閉鎖している場合には、一般レーンで通行券を受け取り、出口料金所においては、一般レーンの料金所係員に申込時に登録したETCカードと入口通行券をお渡しください。（料金精算機が設置されているレーンでは、料金精算機に通行券と同ETCカードを挿入してください。）

二 入口発券方式の区間において、出口料金所のETCレーンが閉鎖している場合には、一般レーンの料金所係員に申込時に登録したETCカードをお渡しください。（料金精算機が設置されているレーンでは、料金精算機に同ETCカードを挿入してください。）

三 単純支払方式の区間において、料金をお支払いいただく料金所のETCレーンが閉鎖している場合には、一般レーンの料金所係員に申込時に登録したETCカードをお渡しください。（料金精算機が設置されているレーンでは、料金精算機に同ETCカードを挿入してください。）

（料金及び請求）

第9条 ドライブパスは、利用期間内に初めて行う周遊走行の完了をもって利用があったものとみなし、ドライブパスの適用対象となる全ての通行に対して、別表1に定めるドライブパスの利用料金を適用します。

2 各通行時における料金所の路側表示器の表示、ETC車載器の料金表示及び音声案内は通常料金（ETC時間帯割引等が適用された通行の場合は当該割引後の料金）となります。

3 クレジットカード会社またはETCパーソナルカード事務局（ETCパーソナルカードの管理運営を行うため六会社が設置する事務局をいいます。以下同じ。）が発行する請求書には、ドライブパスの適用対象となる各通行の走行明細は記載されず、ドライブパスの利用料金にかかる請求明細が記載されます。

- 4 ETCマイレージサービスの還元額明細及びETC利用照会サービスの利用明細に記載されたドライブパスの対象となる各通行の走行明細については、ドライブパスの対象となった通行すべてが完了したことを当社が確認し、ドライブパスの利用料金が確定（以下、「利用料金の確定」といいます。）した後、ドライブパスの対象となる各通行の走行明細を消去し、ドライブパスの明細（企画割引～〇〇IC）に変更されます（ドライブパスの対象となる各通行の走行明細を消去した後、ドライブパスの明細を表示するまでの間、一時的にいずれの明細も表示されない場合があります）。
- 5 ドライブパスの利用料金は、利用したETCカードのクレジットカード会社またはETCパーソナルカード事務局より請求されます。
- 6 前項にかかわらず、ETCマイレージサービスの還元額がある場合、ドライブパスの利用料金は、ETCマイレージサービスの還元額の残高から引き落とされます。ただし、ETCマイレージサービスの還元額の残高が、ドライブパスの利用料金に満たない場合、その不足分は利用したETCカードのクレジットカード会社またはETCパーソナルカード事務局から請求されます。
- 7 ETCパーソナルカードは、お支払いの済んでいないご利用金額の合計額（以下、「未決済残高」といいます。）が、預託いただいたデポジットの80%相当額（以下、「利用限度額」といいます。）を上回ると、利用停止となる場合があります。未決済残高は、利用料金の確定までの間、ドライブパスの利用金額にかかわらず、通常料金（ETC時間帯割引等が適用される場合は当該割引後の料金）をもとに計算するため、未決済残高がドライブパスの利用金額と比べて、一時的に高額となり利用限度額を上回ることがあります。未決済残高がご利用予定区間の通常料金を上回らないことをあらかじめ確認し、余裕をもってデポジットを預託いただいたうえでドライブパスをご利用ください。

（他の割引等との適用関係）

- 第10条 ドライブパスの利用には、ETCマイレージポイント以外の割引は重複して適用されません。（平日朝夕割引時間帯の通行でも、ドライブパスの対象となった通行は、平日朝夕割引の対象外となり、当月の対象走行回数にはカウントされません。）
- 2 ETCマイレージポイントの付与は、前条第1項に定めるドライブパスの利用料金の額に対して適用します。ただし、前条第6項によりETCマイレージサービスの還元額の残高から引き落とされる部分やETCマイレージポイントが付与されない区間の利用に相当するETCマイレージポイントは付与されません。
 - 3 前項により付与するETCマイレージポイントは、ドライブパスの対象となった通行すべてが完了したことを当社が確認した日（実際の通行が完了した日とは異なります）の属する月の翌月20日までに付与します。
 - 4 ドライブパスの利用期間の一部または全部と重複して、本ドライブパス以外の高速道路周遊パス（当社、東日本高速道路株式会社または中日本高速道路株式会社（以下、「三会社」といいます。）が実施するドライブパスに類する割引を総称していいます。以下同じ。）に申込みを行った場合（本ドライブパスの複数のプランに申込みを行った場合を含みます。）、各高速道路周遊パスの利用約款に基づき、三会社が相当と認める額により各高速道路周遊パスの利用料金と周遊エリア区間外の通行料金を決定し、当該額を請求します。

（適用対象外及び無効）

- 第11条 各通行が次の各号の一に該当する場合はドライブパスの適用対象外とし、その通行にかかる通行料

金のお支払いが別途必要になります。

- 一 申込時に登録したETCカード以外を利用して行った通行
 - 二 申込時に登録した車種より上位の車種に属する自動車で行ったとき
 - 三 申込時に登録した利用期間外の日（利用開始日に申込みを行った場合、利用開始日の0時から申込みが完了した時点までを含みます。）に行った通行
 - 四 第5条第1項各号に定める区間以外の区間の通行または同号に定める区間を超えて通行したとき（高速道路の通行止めにより、往路走行または復路走行の途中で通行の中断を余儀なくされた場合の中断前後の通行を除きます。）
 - 五 往路走行完了前に行った周遊走行または復路走行
 - 六 復路走行を行った後の走行
 - 七 2回目以降の往路走行または復路走行
- 2 申込時に登録した車種より下位の車種に属する自動車ドライブパスを利用したときは、適用対象外とはせず、申込時に登録した利用車種に属する自動車によりドライブパスを利用したもののみとみなします。
 - 3 各通行が次の各号の一に該当する場合は、ドライブパスの申込みを無効とし、利用期間内における全ての通行について通常料金でお支払いいただきます。また、料金を不法に免れたと認められる場合には、道路整備特別措置法（昭和31年法律第7号）第26条の規定により、通常料金のほか割増金をお支払いいただきます。
- 一 ETC無線通信による通行が不可能な自動車で行ったとき。
 - 二 通行料金の支払いに必要な情報が正しくセットアップされていないETC車載器を使用して通行したとき。
 - 三 申込時に登録したETCカードを同時に2台以上の自動車に使用したとき。
 - 四 前3号に掲げるもののほか、不正な通行の手段としてドライブパスを利用したとき。
 - 4 ドライブパスの適用後に前2項に該当することが判明した場合は、ドライブパスの適用を取り消し、第1項に該当する場合は各通行にかかる通行料金のお支払いが、第2項に該当する場合は利用期間中における全ての通行について通常料金でのお支払いが必要となります。

（解約等）

- 第12条 申込時に登録した利用期間内に往路走行を行った場合は、以後の通行にかかわらずドライブパスの利用料金を全額お支払いいただくものとし、途中解約、払戻し及び一部返金はいりません。また、実際に通行した区間の通行料金の合計がドライブパスの利用料金を下回る場合でも、払戻し及び差額の返金は一切行いません。
- 2 ドライブパスについて解約が必要な場合は、申込時に登録した利用開始日の23時59分までにウェブサイトにて解約手続きを行うことにより、ドライブパスを解約することができます。なお、解約手続きには申込時に交付した申込番号及び申込時に登録したメールアドレスが必要です。
 - 3 申込時に登録した利用期間内に往路走行を行わなかった場合は、申込時に遡って解約されたものとみなし、ドライブパスの利用料金は請求いたしません。ただし、ドライブパスを含む複数の高速道路周遊パスに利用期間の一部または全部が重複する申込みを行い、ドライブパスを解約しなかった場合において、ドライブパス以外の高速道路周遊パスの周遊エリア区間内のみを通行した場合であっても、ドライブパスの利用料金を請求することがあります。

(個人情報保護)

第13条 ドライブパスの申込者の個人情報は、当社が別に定める個人情報保護に関する方針に従って適切に取扱います。

(免責事項)

第14条 当社は、次の各号に掲げるときには、ドライブパスの利用者が被った被害について一切責任を負いません。

- 一 当社の責めに帰することができない登録事項の誤りにより、ドライブパスの利用に影響を及ぼしたとき。
- 二 天災地変その他の不可抗力による通信上の障害又は事故により、ドライブパスの利用に影響を及ぼしたとき。
- 三 当社の責めに帰することができない通信上の盗聴、妨害又は事故により、ドライブパスの申込者の個人情報が漏えいし、改ざんされ、又は窃取されたとき。
- 四 通行止め、通行規制（特定の自動車に限定して行われる通行規制を含みます。）又は渋滞により、ドライブパスの利用に影響を及ぼしたとき。
- 五 自動車の故障等、当社の責めに帰することができない事由により、ドライブパスの利用に影響を及ぼしたとき。

(約款の変更)

第15条 当社は、事情により本約款を変更することがあります。

- 2 当社は、前項の変更を行う場合、変更内容を当社のウェブサイトへの掲示等の方法で周知します。
- 3 当社は、第1項の変更によって申込者が被った損害について、一切責任を負いません。

別表1：プラン、利用日数及び利用料金

(税込、単位：円)

プラン名	発着エリア	周遊エリア	利用日数	軽自動車等	普通車
福岡発着往復料金 セットプラン	福岡	佐賀	2日間	2,600	3,300
北九州発着往復料金 セットプラン	北九州	佐賀	2日間	3,900	4,900
山口発着往復料金 セットプラン	山口	佐賀	2日間	5,400	6,700
広島発着往復料金 セットプラン	広島	佐賀	3日間	8,800	11,000

別表2：発着エリア

(A) 福岡エリア

道路名	区間
E3 九州自動車道	古賀 I C～筑紫野 I C

(B) 北九州エリア

道路名	区間
E3 九州自動車道	門司 I C～若宮 I C (ただし、宮田スマートICを除く。)
E10 東九州自動車道	北九州 J C T～苅田北九州空港 I C

(C) 山口エリア

道路名	区間
E2A 中国自動車道	山口 I C～下関 I C
E2 山陽自動車道	防府西 I C～山口 J C T 宇部 J C T～下関 J C T

(D) 広島エリア

道路名	区間
E2 山陽自動車道	西条 I C～廿日市 J C T
E2 広島岩国道路	廿日市 I C～大竹 I C
E74 広島自動車道	広島 J C T～広島北 I C

別表3 周遊エリア

E34 長崎自動車道	嬉野 I C～鳥栖 I C
E35 西九州自動車道 (武雄佐世保道路)	武雄 J C T～佐世保大塔 I C